

きりん
V.G 槻輪 だより

最初に何をやるの？

私達のグループは、「高槻まちづくり塾」を受講して何かをしたいと集まりました。決まったのが「まちづくりに関する市民活動をしよう」でした。でも、なにかから始めたらよいの？私たちが塾を受講しようとした動機に、高槻をもっと知ることが出来るのではとの思いもあつたが・・・。こんなことから活動を始めるにあたり、まず「わが高槻を知る」ことから企画して進めることになりました。

わがまち紹介

わがまち高槻はどんなところでしょう。昭和五十年頃より新しい家がどんどん建てられ人口もそれにつれて増えました。でもその頃の街は古くから城下町として京の都と摂津・難波を淀川・西国街道とで結ぶ重要な拠点でありました。現在は伝統ある旧い家並みとモダンな住宅街。商・工・農とが共存している、誇れる街なのです。

城跡散策

十二月十六日(木)まずまずの天候の中、会員の松井昇さんの計画で大手町「江戸時代の面影が残る町並み」高槻の歴史がわかる「高槻市立しるあ歴史館」憩いの場とロマンを見いだせる「城跡公園」昔の生活の面影がある「歴史民族資料館」身の清まる「野見神社」を散策致しました。参加者は、会員以外に3名の同感者も参加していただき、ニグループに別れてゆっくりと説明を受けることが出来ました。
「大手町」理安寺、光松寺、本行寺とお寺が連なっています。本行寺の住職さんからは、寺の説明をしてあげるとの申し出も受けたのですが、最初に散策時間を2時間程度と決めたことと、歴史館等の説明時間を決めていたことから次回にさせて頂きました。

「思案石」

本行寺の南西には、思案石が歩道の中央に黄色い色を付けて歩行者の注意を向けさせています。なぜ、歩道の中央にこんな石があるのかの説明板も有りません。この石がなぜ「思案石」と言つのでしょうか。この言われの文献は残って居ないようです。が、本行寺からお借りした本の中の「蛇の話」の章に説明がされています。又他の方の話しとして、ある人がこの石に腰掛けお城の堀に投身を思案したとのいわれが有ることでした。

「江戸時代の面影が残る町並」 思案石から高槻しるあ歴史館へ行く道は、昔の城の堀に添うように、土堀の堀に添って歩きます。
「高槻しるあ歴史館」 この歴史館は、平成十五年三月、高槻城三の丸跡に開館しました。歴史とロマンに出会える会館です。館内は、バリアフリーで安心して順路に従って見学出来ます。わたし達は事前に申し込んでおいたこともあつて、ボランティアの方が懇切丁寧に案内していただきました。

「高槻工兵四連隊跡」

歴史館を出て、高槻第一中学の城壁を模した様な石垣を見ながら運動場の横、城跡公園の入り口に、赤煉瓦の高槻工兵隊跡正門と碑に出会います。

私たちも説明していただく次から次へと質問が出て、予定の時間を大幅に長くなってしまいました。



城跡歴史館



城跡公園

「高槻城跡」

城跡公園に入る左側(島上高槻の木高校の北東角)に高槻城跡の碑が遠慮しながら建っています。横には大きな石が積んであるので城の石組みかと思つたら、ガイドさんの話では、出てきた石をここに集めたとのこと。石組みでも残っていると良いのですが残念です。

「城跡公園」 公園の中にはいますと池の中には大きな鯉がゆうゆうと泳いでいる噴水のある池に出会います。西には東を向いて高山右近の銅像も眩しく見ることが出来る、現代劇場北のキリスト教会内の右近の像と比較することも良いでしょう。さらに西に進むと梅林があります。

城跡公園には散策路があり、ゆったり散策も出来ますが、もう少し広いグリーンエリアを設けて、その芝の上で親子の遊べる場所が欲しいものです。

「歴史民族博物館」

市内に残る民族資料などを収集・展示し、郷土の生活文化を学ぶとして、昭和五十七年に開館したとのこと。建物は江戸時代の商家・笹井家住居を移築復元したとのこと。館内の展示品を見ると、田舎でくらしした年輩者は心癒されます。

「野見神社」 新しいお堂の野見神社と境内にある高槻藩永井家初代の永井直清を祀る永井神社がある。屋根瓦には一族の家紋と思われる紋もあり重々しい感じがする神社です。

この度の高槻城跡の説明に当たりましては、高槻市立しるあ歴史館の学芸員の方々のご配慮及びボランティアガイドの方々の懇切丁寧な説明に惹かれ、長時間にわたるご案内本当に有難う御座いました。

今まで、この城跡公園を散歩したり自転車で通り過ぎていましたが、今後は高槻の歴史の宝庫としてより充実した一角となるよう希望します。

**平成17年1月の予定 わがまちの紹介
 酒造りと古寺のまち(富田町周辺) 散策**

1. 日時:平成17年1月20日(木)9:45集合
2. 集合場所:阪急富田駅改札出口
3. 案内人:大岡成一
4. 小寺池図書館、普門寺、本照寺、三輪神社、清鶴、他

**平成17年2月の予定
 古墳のまち**

1. 日時:平成17年2月17日(木)午後1時
2. 集合場所:JR摂津富田
3. 案内人:大岡成一
4. 埋蔵文化財調査センター、八二ワ工場公園、他